

2012年5月18日

会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 井原 勝美
 (コード番号: 8729 東証第一部)

**ソニー生命の2012年3月末市場整合的エンベディッド・バリュー(MCEV)の計算結果【速報】
 および経済価値ベースのリスク量について**

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社(社長:井原 勝美/本社 東京都港区)は、本日、2011年度決算発表を行ないませんが、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して、適時・適切な情報開示を積極的に行なうため、市場整合的エンベディッド・バリュー(以下、MCEV)の速報値を同時にお知らせいたします。MCEVは、100%子会社のソニー生命保険株式会社(社長:井原 勝美/本社 東京都港区/以下、ソニー生命)の企業価値を経済価値ベースで評価する指標として位置づけられております。

また、ソニー生命における経済価値ベースでの財務健全性に対する投資家の皆様の理解をより深めていただくために、「経済価値ベースのリスク量」もあわせてお知らせいたします。

(単位:億円)

	2011年3月末 (スワップレート)	2011年3月末 (国債レート)	2012年3月末 (国債レート)	増減 11.3末国債 vs 12.3末国債
MCEV	8,536	9,135	10,415	1,281
修正純資産	2,303	2,303	4,092	1,789
保有契約価値	6,233	6,832	6,324	▲508
うち、新契約価値	568	617	652	35

2012年3月末のソニー生命のMCEV計算結果(速報)は前年度末に比べ1,281億円増加し、1兆415億円となりました。保有契約価値は、新契約価値の積み上がりや法人税率の引き下げによる増加効果があったものの、超長期金利の低下などにより減少となりました。一方、修正純資産は、ALM目的で保有する超長期国債価格の上昇などにより増加しました。この結果、MCEVは増加しました。

ソニー生命では、2012年3月末のMCEVの計算に用いる割引率については、従来のスワップレートに代えて**国債レートを適用**します。日本国債は、円建債務の中では最も信用リスクが低いと考えられ、会計や規制上の制約等の中で現実に投資可能かという実用性の観点や超長期年限の流動性の観点からも優れていると判断しております。

2012年3月末のソニー生命の**経済価値ベースのリスク量**(税引後)は**5,515億円**となりました。経済価値ベースのリスク量^(※1)とは、ソニー生命が保有する各種リスク(保険引受リスク、市場リスク等)を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量です。当該リスクを経済価値ベースの自己資本である「MCEV」に対して適切な水準に保つことで、財務健全性の確保に努めています。

(※1) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、EUソルベンシーII(QIS5)の標準モデルを参考にした内部モデルを採用しています。

なお、本計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご注意ください。第三者の検証を受けた2012年3月末時点のEuropean Insurance CFO Forum Market Consistent Embedded Value Principles¹に準拠したMCEVの公表は本年5月25日を予定しております。

¹ Copyright © Stichting CFO Forum Foundation 2008

(お問い合わせ先)

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社

広報・IR部 電話: (03) 5785-1074 E-mail: press@sonyfh.co.jp

(ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社のホームページ) <http://www.sonyfh.co.jp/>